

- 当社では、「脱炭素社会の実現への貢献」を挙げ、CO2排出量の削減率を2030年までに50%以上削減（2013年度比）することを目標としています。
- 実現のための施策として、更なる省エネルギー、省CO2を推進した生産設備の増設による生産能力の向上、自家消費型太陽光発電システムの導入等を実施し、各事業所において燃料転換やスマートファクトリーの構築に取り組んでいます。
- これにより、CO2排出量を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

＜取組の内容のイメージ＞

1. 事業適応計画の実施期間

2023年6月～2025年3月

2. 生産性向上目標

炭素生産性を31%向上させることを目標とする。

3. 前向きな取組の内容

熊谷工場では、既存設備と比し省エネルギー、省CO2を可能とした生産設備の増設により、従来と比較してCO2排出量の増加を抑制しつつ生産性の向上を図り、また龍野工場・新宮事業所では、自家消費型太陽光発電システムを導入することで、省CO2化を実現します。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

- 熊谷工場
埼玉県熊谷市万吉



- 龍野工場・新宮事業所
兵庫県たつの市神岡町東紫崎

